

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		8-	4
事業名	障害者地域生活支援事業	会計	款	項	目
施策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	3	1	1
施策	3-4 障がい者福祉の推進	課名	地域福祉課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障がいのある方とその家族	目的 (対象がどのような状態になっているか)	障がいのある方とその家族が、地域で自立した日常生活や社会生活を営み、安心して暮らせるよう支援する。
事業内容	・障がいの状況に応じて、障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業として、日常生活用具給付、移動支援及び日中一時支援等の各種障害福祉サービスの給付と、手話通訳者等派遣事業や基幹相談支援事業を実施します。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
2								
3								
4								
5								
			令和3年度 (決算)	令和4年度 (決算)	令和5年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				52,699	52,215			59,348
財源内訳	直接事業費 A			43,549	45,045			51,782
	うち一般財源			29,289	28,462			15,976
人件費 (千円) B				9,150	7,170			7,566
内訳	一般職員 (人・千円)		1.25	8250	0.95	6270	1.01	6666
	臨時職員 (人・千円)		0.5	900	0.5	900	0.5	900

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	地域生活支援拠点の面的整備の部分については、引き続き桑員圏域で検討していく必要がある。また、基幹相談支援事業についても充実を図る。	③取組の課題	地域生活支援拠点の必要となる事業内容について、委託部分だけでは不十分であり、今後さらに関係機関等と検討、協議し整備する必要がある。
②R4年度に実施した取り組み	障害者総合支援法に基づき、市町村事業である障害福祉サービスを提供しました。地域生活支援拠点等の整備については、事業の一部を社会福祉法人いずみへ委託し、運営を行った。	④今後の改善計画	地域生活支援拠点の面的整備の部分については、引き続き桑員圏域で検討していく必要がある。また、基幹相談支援事業についても充実を図る。